

(上海十六同盟) 漢口その他に於ける邦人權益に對する支那側の破壊は蔣介石の戰略的變化による新政策の現れとして注目されてゐる、即ち傳へられるところによれば共產黨首領朱德、彭德懷は十八日軍事委員會委員に任命されたのを機會として破壊實行に着手したもので、右の邦人權益の破壊方針は約一ヶ月以前共產黨首領より蔣介石に建言せるものであり、今や蔣介石は共產黨の抗日方針に捲き込まれ赤の一色に塗り潰されつゝあることを實證するものとされてゐる

青島の情勢急迫化する

「上海十九日同盟」青島日本 人紡績工場爆発は十月八日夜 八時を期し行はれ四方、滄口 にある我が紡績工場地帯は一 時に火を吹き深夜に至つて一 面火と化し上	け十九日正午頃には全く灰燼 に歸した 「上海十九日同盟」青島日本 人紡績工場爆発は十一月九日 までに國民政府の命令で準備 を完了、各工場社等にダイ ナマイトを設置發火の機會を 狙つてゐたのだが、蔣介石 の直接の命令で十八日午後八時 に引火されたもの
「上海十九日同盟」青島來電 によれば目下炎焼中のものを 除き六日目、日勃、内外勃、 日滑勃、上海勃、長崎勃、公 勃、大勃各工場は一晩中炎焼し概	交野でせう 「上海十九日同盟」各方面 に於ける徹底的散敗から自暴 棄的に最後の足掻を續けてる 支那は、各地にある邦人 有財産の破壊に着手しその 始めに青島及び漢口にある が紡績工場の破壊を行ひつ たが、青島には内外勃、 土勃、公大勃、公勃（紡績） 紡績）蓬萊勃（長崎紡績）

鹿を見るのは支那

「上海十九日同盟」青島にある邦人紡績の機械につき在華紡績同業總務理事船津信一郎氏は左の如く語る

青島では豫てより邦人紡績の製品が売逐れ市中で投資されてゐると聞いてゐたので、相當の損害は覺悟してゐましたが、工場が全部破壊された上たらこれ等の被害は甚大なものです、殊に同地の工場は在華紡の多くも比較的新製のものが多く工場及び製品の損害額は恐らく二億以上に達するでせう、併し結局このなことをして馬鹿を見るのは

「東京二十日同盟」政府は島の暴動事件發生を重大視

五千鎊を加へて合計六千鎊に達し何れも全滅と見らるる損害額は二億以上にするものとされてゐる

事態を重大視

我政府監視

在華紡績同業理事船津氏談

たゞ膺懲あるのみ

大鷹青島總領事憤激して語る

引揚後の日本人の財産は保

つて韓復榘の手紙は「萬五千」とあるが、これは七月までの数字を採り、更に七月までの日本訪古船の数を、正統屯屯の中央政府衛隊下第二師の駐屯屯の中央と突然すり交へて中切ら

て、され更にそのために山東の和平を希望した出身官吏の引揚を平定官憲の引揚とすると、但し青島附近軍事行動をきたる場合はその責を負ひ、この公文書交換により悪い結果を行つたもので、青島総領事館の包圍一キロの地點には一ない居留民一萬七千人を説得

が案かた大案を今にも切らんとする基炭不協な態度を示し、八月の操業は八月

の引揚げをしたが、その間に青島市長陳鴻烈との間、青島市の日本側は保

續領事館員以下三百名が最長として八月三十日遂に原川

中止

ネー—號爆擊事件
米第二回通牒發す

九時、各南西南黃河左岸
の敵陣地偵察に向つた
平部隊の精銳○機は脚
泰安(西方四里)北方に敵
隊を発見、これに猛烈な
を加へ更に潰走する敵に
対する機銃掃射を行ひ大打
撃を與へて悠々歸還した

又那側の蠻行を恐れ
英艦まで漢口引揚げ

英米側も
軍艦を急派
上海十九日同盟 青島に
人五百、米人三百在住し
、在支各國當局は事變を
米國は十九日午後十二
海から軍艦二隻を急派し

飽くまで長期抗戦

まで長
蔣介石最

ソ聯の援助獲得に大意

【紐育十八日同盟】UP上
又局が支那側の情報として
るところによれば蒋介石
うしたことを未然に防が
と骨折つたのですが遂に

國民政府斷末魔の足掻

過去数日間に亘つて軍政發表されたものは次の

氏一般の令靜に絶對同事件に觸するため何ら言明を許さ
 ぬ長官は新聞記者事件編輯に重大且つ極端
 な趣け回答を拒絶し語つてゐる

ル大統領大満足

府十八日問題、バナニ號く語つた

ル大統領はバナニ號
對し一般米國民は日本
の誠意を信賴し、冷靜な態
度保持してゐるが、バナニ
統領秘書ステファン・ハ
氏は十八日新聞記者團に
大統領は國民の態度に極
満足してゐる旨を左の如

旅館は避難民で満員

市内の動搖狀況を左の如
してゐる

支那暴民に袋叩き

【香港駐在
同盟】十九日
佐鈴木卓治氏は本

市せる寫眞機
武官の交渉

機のみを返却したか
を取り立ち去つた

英武官も
毆打さ

國租借地側に侵入

重要使命を盡
て支那側に厳重抗議
に對しては英國官憲
に對しては英國官憲
に對しては英國官憲
に對しては英國官憲

健康増進に

豫防に  治療に

老いも…若きも…健康者も…病者も

成功への近道は  の常用にあり

◆ 御求めは各地薬店又は本社出張員へ ◆

日伯社営業部

